

Sea Breeze



中国・上海に、連絡事務所を開設
海外事業推進室

学校法人岩谷学園 校友会中国(上海)連絡事務所は、2007年11月から正式に対外に開放いたしました。

これから卒業生の皆さんのために色々な情報の発信源として活躍していきたいです、そして、皆さんの要望に応じて、出来る限り色々なお世話をさせていただきます。

また、事務所から卒業生の皆さんにお願いがあります、何か変更がありましたら、小さなことでも是非一報ください。

これから事務所は、校友会年報を卒業生の皆さんの実家に送付いたします。入学の相談や在校生の状況報告も行う予定です。また、大学や専門学校を卒業しましたら、日本への就職および帰国後の就職について、出来る限り、情報提供や紹介等のお手伝いをさせていただきます。

中国(上海)事務所は市の中心部の交通至便、分かりやすいところにあります、近くに地下鉄4号線とバス10何便もあります。皆さん是非お越しください。

住所： 郵便番号200081

中国上海市四平路311号恒城花苑甲座1606室

電話： 8621-65751309 65212671

FAX： 8621-65217106

地下鉄で来られる方は 4号線で海倫路駅から徒歩7分です

バスは 962・14・55・

576・123・910・61・307・

875・100・848・47・571

等線路のバスの

臨平北路バス停から徒歩30秒です。



校友会の統合と学園の動向

岩谷学園 理事長 岩谷伸一

卒業生のみなさん、お元気でお過ごしですか。

年1回のシーブリーズだけが、皆さんへメッセージが送れる手段となっていますが、今回、これではいけないということで、卒業生で岩谷学園教員の方と校友会のあり方について会議を持ちました。その結論は、各学校の校友会を岩谷学園校友会に一本化すること、そしてもう一度各校の校友会を再構築していくことでした。

今、多くの卒業生は現役としてバリバリと仕事をされていて、とても校友会まで手が回らないという心境だと思います。しかし、そのまま手をこまねていると、卒業生の居所が全く分からなくなってしまい、いざクラスメイトと会いたい、会合を持ちたいと思ったときに、探す手段もなくなってしまいます。

今回は、卒業生で学園教職員に校友会の仕事をしてもらうため、再構築が軌道に乗るまで暫定的に校友会役員になって頂きました。この人たちと従来の役員の方たちで役員を引き受けてくれる方で再構築を進めていきます。つきましては、校友のみなさんのご支援ご協力をお願いいたします。

さて、学園の事業についてお知らせします。現在は、横浜平沼地区にある岩谷学園高等専修学校(メディア情報)、岩谷学園テクノビジネス専門学校(日本語、情報ビジネス、経理ビジネス)、岩谷学園アティスティックB専門学校(美容)の3校での専修学校事業と、港北ニュータウン地区にある岩谷学園附属エクレス幼稚園、ペアレントサポートセンターエクレス子供の家(認可保育園)、プライベートルームエクレスフィア(認可外保育園)3園での幼児教育事業を行っています。また、これに加えて、去年から次の3つの事業展開を進めています。ひとつは、中国等への展開(そのため上海に校友会事務所を設置しました。)そして、二つめは収益事業として有料職業紹介・派遣業への展開。これは、今まで学園で実施していた職業訓練委託事業と職業紹介事業を学園のリソースとして積極的に活用していく事業です。是非、卒業生も積極的に活用して頂きたいと思っています。最後の三つ目が、シニア世代向けの交流サロン「粋生倶楽部」事業です。団塊の世代のマーケットをどう取り込んでいくのかというのは、最近の企業の大きなテーマです。少子化で人口が減少していく日本では、教育機関といえども、避けて通れない課題です。これにチャレンジして参ります。

世界全体が不確実性に包まれて、先行きの見えない社会になりつつあります。しかし、こんな時代こそしっかりと前を向いて一歩ずつ着実に進んでいくことが大切だと思います。皆さんも、何事も前向きにとらえ、健康に留意されて、仕事や日常生活を楽しんで頂きたいと思っています。



母校で頑張っています！

1996年度 OAインストラクタ本科卒 白鳥和代

卒業後、就職指導室から紹介された一般企業に勤めましたが、数ヵ月後に退職。ご縁があり、横浜簿記の職員となり再び学校へ戻ってきました。以前は窓口業務を中心に、入学相談や検定申込等と幅広くお仕事をしておりましたが、昨年からキャリアセンターに所属しております。気がついたら11年も勤務していました。あっという間ですね。

在学中は就職相談や求人を見つけるためによく就職指導室を利用していましたが、今は逆の立場になって仕事をしていることが正直驚いています。仕事の内容としては、求人に関する事務処理、電話応対や接客、たまには学生の就職相談もしています。就職相談といっても世間話ばかりですが、学生を対応していると自分が就職活動をしていた頃を思い出します。

学校で学んだことはかなり生かされています。使っていた教科書をたまに見ることもあります。在学中でも大変お世話になりました平野由美子先生が上司ですから心強いですね。今もいろいろ教えていただきながら仕事をしています。

学生生活2年間過ごした校舎、横浜簿記の卒業生なら変わり様にビックリされるでしょうね。でも母校にかわりはありませんので、機会がありましたら是非ご来校ください。



常にチャレンジャー精神

2006年度 情報ビジネス科卒 戴 曉玲

皆さん、お元気でしょうか？WEBコースを卒業してから、一年が経った今でも、学校での勉強や仲間と過ごした日々など、昨日のように鮮明に覚えています。

私は学校を卒業して、母国の台湾に帰国しました。現在は、地元新竹市内にあるペット関係の会社で、アジアエリアの担当マネージャをしています。外国の取引先との業務だけではなく、輸出入をするための知識も身につけなければなりませんので、学校を卒業しても、日々の勉強は欠かせないです。今まで挑戦したことないことだからこそ、挑戦し甲斐があると思って頑張っています。また、WEBコースで学んだ知識もちゃんと生かして、会社の商品カタログ製作や商品デザインもやりながら、忙しい日々を過ごしています。

休日は、日本語会話教室の先生をしています。日本で習ったことや経験を学生に教えることは、自分にとっても勉強の一つですね。また、たまにも友達と出かけたりしていて、とても充実していますよ。

学園生活の思い出はいろいろありましたね。球技大会、学園祭、クラスのバーベキュー、そして、沖縄卒業旅行…。笑いあり、涙あり、もちろん喧嘩もあり…。今思い出して、改めて『私はこのクラスにいて良かったな〜』と思いましたね。うちのクラス本当に最高でした。今度、会うことになったら、またカラオケやバーベキューをしようね。

(写真は姪御さんとのツーショット)



人との出会い

2004年度 ショップビジネス科卒 三木 絵理奈

アーティスティックB専門学校を卒業後、みなとみらいにあるネイルサロンに就職しました。その後、川崎、新宿、横浜と2年間ネイルサロンを転々とした後、自宅でネイルサロンをしながら結婚式場や美容室に出張ネイルをしたり、夏には海の家でネイルのブースを置いてもらい、ネイル・ボディアートなど、約1年間フリーで活動をしていました。

現在は、なんと不動産会社で事務の仕事をしています。まったくの畑違いに最初は戸惑うばかりでした。しかし、ネイリストと不動産という職業は違いますが、同じ「接客」です。たくさんの人の暮らしに関わり、とても勉強になったと同時に、入社するまで不動産は、ちょっと遠い存在でしたが、生活していく中でこんなに身近な存在だと実感しました。

そんなとき、先生から「高校生の体験学習をやってみない？」と声をかけていただき、ネイルの仕事を紹介しながら、みんなでカラーやアートの実習するイベントを担当しました。みんな初めての生徒たちでしたが、楽しそうに次々と作品を作っていました。私自身もとても楽しかったです。

そんなことがあって、今年中にまたネイリストとして復帰することが決まりました。

この3年間たくさんの人に出会って、良い経験をさせてもらいました。大好きなネイリストに復帰出来るので、これらの経験を生かして、以前よりもプラスαなネイリストになれるように頑張りたいと思います。



卒業して24年、仕事も趣味も充実しています

1985年度 税理士本科卒 仙波 一成

卒業後、市役所に勤務し24年がたちました。あっという間だったようでも、仕事で楽しかったこと、苦しかったことも、たくさんの良い思い出として残っています。

プライベートでは、結婚、子供の出生、父や友人の死、子供の入学・卒業、自宅を建築等々、喜怒哀楽に満ちた日々を送ってきました。それでも何とか無事に過ごしてこられたのは、家族と仲間と恵まれたことが一番の理由だと思います。職場の仲間をはじめ、趣味の自転車・バイク・カメラ・ヨットと、今現在もいくつものクラブに所属し、大勢で楽しむこともできれば、一人で楽しむこともできる環境に大変満足しています。

特にバイクのコアな世界では、少々ですが知っている人は知っているくらいには有名になり、まったく知らない人に声を掛けられたこともあります。また、全国各所に、現地を案内してくれたり、泊めてくれたり、困ったときに助けてくれる友人ができたことも、大きな財産です。

最近では、横浜簿記時代に創部したヨットも卒業と同時にご無沙汰になっていましたが、数年前から当時の仲間と復帰しています。往時のヨットのみではなくジェットスキーも所有し、学生気分に戻って、三浦海岸で楽しんでおります。卒業生であれば誰でも入会できますので、興味がある方は、飛田先生にお伺いください、お待ちしております。



子育てと仕事頑張ってます。
1989年度 経理本科卒 増子 知子(旧姓 岡田)

4月よりアーティスティックB専門学校で、着付けの授業を担当しております。このお話を頂いて友達(同卒業生)と一緒に元担任の松井校長先生に会いに行きました。

松井先生と会うのも友達と会うのも何年ぶりかな?でしたので卒業アルバムを見ながら修学旅行の事や教室の事、先生などの話しをして久々に学生時代を思い出しました。

私は今1歳4ヶ月になる子供がいます。子育てに追われていて毎日があつという間に終わってしまいます。着付けの授業のお話を頂かなかつたら、なかなか学校に顔も出せないし、友達とも連絡を取らなかつただろうし、着物からも遠ざかっていたかもしれません。子供と離れるのは初めてだったのでちょっと心配でしたが、学校近くの保育園での経験もお互いに良いなと思っています。

大人数の学生を教えるのはどんな感じなのだろうと、想像もつかなかつてカリキュラムも悩みましたが、着物に興味を持っている学生が多く私も授業の日を楽しみにしています。

着付けの授業は振袖がほとんどですが、いろいろな着物を見て着てもらい、知識を身に付けて今後少しでも役立ててもらえると良いなと思っています。成人式、卒業式など着物が身近で着る回数も多いこの時期だからこそ、少しでも着物を好きになってもらえると良いなと思って授業を行なっています。

<写真上は、左から増子さん・松井先生・堀内(菊池)由紀さん・柏木(小泉)祐衣さん>



全国のフルマラソンにチャレンジしています
1989年度 高等専修学校卒 長谷部 亨

学生時代で3年間、事業推進部勤務で2年間大変にお世話になりました。私は趣味を沢山持っている中で生涯を賭けて達成したいのが全国のフルマラソン大会を完走する事です。

走ってみるといふきっかけは子供の頃にTVで芸能人がホノルルマラソンに挑戦してあまり、完走できる人がいなかったの、そんなに完走できないものなのかと子供心に感じていて、いつか自分も挑戦してみたいと思ったことです。

そして今から11年前に念願のホノルルマラソンに出場できました。この日に備えて練習も沢山しました。当日は午前5時にアラモアナ・パークをスタートして気合を入れて走りました。ダイヤモンドヘッドは登り坂と下り坂をクリアしました。ようやく35Kmを過ぎた地点で膝が痛くなってきて無理をすれば今のペースで走れるが日本に帰って仕事の事を考えたらペースを落して無理をしないで走ることにしました。なんとかゴールまで800mのところまで両サイドに声援を贈ってくれる人達がいて、感動して目頭を曇らせながらゴールしました。

その後はオーストラリアのゴールドコーストマラソンや国内のフルマラソンの大会に出場するようになりました。(タイムは平凡ですが)

今回、皆さんにシーブリーズが届く頃には北京オリンピックや24時間テレビのマラソンも終わっているでしょう。マラソンを見て感動した方は自分でも走ってみてはいかがでしょうか? <写真は、ゴールドコーストマラソンで有森裕子さんと>



仕事のやりがい
2006年度 ショップビジネス科卒 刀祢 陽子

こんにちは!フラワー・ガーデニングコース卒業生の刀祢です。現在は、大和市にあるスーパーの中のお花屋さんで働いています。

岩谷学園でリーフを運営していた経験が、今実際にお店で働いてみて、とても貴重な経験が出来たと実感しています。

お客さんからのご注文いただいた花束やアレンジメントを作ったり、お店のディスプレイをしたり、裏方の作業を一つ一つ丁寧にこなしていくなど、とても大変ですが、お客様から「ありがとう」と言われるとやりがいを感じます。まだまだ大変なことがありますが、当時のクラスメートと時々集まって、それぞれの悩みを

相談し合ったり、お互いに励ましあったり、また学園生活の思い出を振り返ったりと、今でも当時と変わらず楽しく集まっています。

スーパーの中のお花屋さんなので、子供からおばあちゃん、おじいちゃんまで幅広い年代の方々と接する事ができます。

これからももっとたくさんの方々にお花の素晴らしさが伝わるように、仕事を頑張っていきたいと思っています。



カメラが趣味になりました
2007年度 経理本科卒 鄭 春光

皆さん、お元気でしょうか?現在、私は株式会社アフレックスの社員として株式会社ニコンにおいてカメラの評価業務に携わっており、毎日カメラとパソコンに触りながら楽しく仕事をする日々を送っています。最初はカメラについて何一つ知らずカメラの専門用語にも苦慮しましたし、人との付き合いなどの難関もたくさんありました。しかし、わからない点は調べたり周りの方に聞いたりして解決してきました。

一年以上過ぎた今、やっと一人で仕事が任されることになりましたが、これは全部、人生の生き方などを教えてくれた岩谷学園テクノビジネスの先生方のお陰だと思っています。まだまだ勉強中ですが、いろいろな技術を身につけながらさらにスキルアップをしていきたいと考えています。

仕事をとおして興味を持ったカメラですが、すっかり趣味となり、暇な時間があれば撮影に出かけたりもしています。また、スポーツ観戦も好きなので、会社の方と一緒に東京ドームに野球観戦や、先日は岩谷学園の先生や在校生と一緒にJリーグ観戦にも行ってきました。

今年9月の学園祭には卒業生仲間を誘ってみんなで学校を訪ねてみようと思っています。そして機会があったら学校の先生方と同窓のみんなと集まりたいですね。

<写真は、左が鄭春光さん、右は在校生のオドンフーくん>



横浜商科大学商学部在学中です
2006年度 高等専修学校卒 榎原 智浩

7月末に前期試験が終わりました。2年になって急に授業が難しくなったように感じます。1年では語学も含めて必修科目がほとんどで、専門科目も「概要」のような基礎的な勉強だったので余計にそう感じるのだと思います。ただ、難しいと思う反面、大学生らしくなってやりがいがあるなあとちょっと嬉しいです。

今年の夏休みは、就職試験講座を受けるつもりです。就職は流通業や小売業を考えているので、来年以降は販売士の資格を目指して講座をとっていくつもりです。また、今年の後期からは流通関係のゼミも始まるので楽しみです。大学ではサークルには入っていませんが、クラスで仲良くなった友達と、地方から出てきている友達の部屋でワイワイやっています。大学生活の後半は、車の免許をとって、友達と旅行したいです。

時々高等専修時代のことを思い出します。小さい学校だったけれど、先生との距離が近くて本当によかった。大学進学も、



自信のなかった自分のために先生方が必死になって応援してくれました。つい最近、初めての同窓会があって、久しぶりにみんなに会って盛り上がりました。河東先生も志村先生も相変わらず元気で若い！！また会いましょう！

自信のなかった自分のために先生方が必死になって応援してくれました。つい最近、初めての同窓会があって、久しぶりにみんなに会って盛り上がりました。河東先生も志村先生も相変わらず元気で若い！！また会いましょう！

県立高校との教育連携拡大
今年度は横浜修悠館高校も加わり4校と協定

岩谷学園は3年前より高校と連携を行い、教育交流の講座を開講しております。

数年前から高校では高校生のキャリア教育に様々な取り組みをされていたようですが、より実践的な部分での対策に苦慮されていたようです。この対策として1番多くみられたのが進路先



訪問です。しかしこれでは表面的な部分の理解で終わってしまいます。そこで岩谷理事長を中心に「仕事のまなび場」や「ジュニアB検」などの高校と専門学校との教育連携を実施してきました。

<右>へ続く>

学生時代が原点に
1995年度 情報処理本科卒 小川竜也

早いもので横浜簿記専門学校を卒業してから一回り経ってしまいました。現在は在学中の就職活動で内定をいただいたソフトハウス一筋で頑張っています。なので、今年で13年目に突入。一応、主任クラスにまで登りつめました。

入社当時はWindows95なんてのが登場したため学生時代に主に勉強したCOBOLの出番はなくCやVBが主流になっていました。が、COBOLで培ったロジックの考え方や情報処理関係の知識は今も業務で活かされています。20代はほんと仕事仕事の生活でした。残業は当たり前で2徹3徹の生活を送っていましたよ。当手を振り返るとよく生きていたなあって思うくらい過酷でしたね。その副産物か学生時代60Kgだった体重がなんと89Kgまで膨れ上がっちゃいました。今は何とか69Kgまで落としましたけどね。



28歳になり、そんな生活からようやく脱却できたので、それをきっかけに趣味を積極的に行うことにしました。周りの人に僕の趣味は何？って聞いたら皆迷わず「バスケ」と答えるでしょうね。それくらいバスケに没頭しています。ぶっちゃけバスケが中心に生活が回っているといっても過言じゃないですよ。

実はバスケも専門学校の時に始めたんですよね。当時はドリブルもまともにつけない超ドシロートでしたが、今はそこそこできるようになりました。当時の部員達にどれだけ近づけたか見せたいですね。今振り返ると仕事にしろバスケにしろ原点は横簿にあるんだなあと思いました。

この延長として、各県立高校と岩谷学園の個別の教育連携もスタートしています。初年度は県立川崎高校と協定を結びアーティスティックB、テクノビジネスそれぞれ週一回、半年間の講座を提供、14名が受講しました。美容やビジネスに興味のある高校生にとって、技術的にも、進路を考える意味でも十分な成果があったと評価されました。その結果、昨年は県立横浜陽高校、県立厚木清南高校とも協定を結び、16名が参加、今年さらには県立横浜修悠館高校を加えて4校となり、30名の高校生が受講しています。



これからも高校連携を強化して、実践的な職業教育、自立出来る人材教育を早い段階から実施できるよう努力して参ります。

仕事を続けながら2年間で大学を卒業 (10月1日付)入学 後学期 入学 後学期 入学者募集中!
志願書受付期間 7月1日～10月31日(本学必修)



- 1 専門学校を卒業された方は3年次に編入学ができ、2年間で卒業をめざすことができます。
- 2 さらに簿記検定やビジネス能力検定など29種類の資格についても最大30まで単位を認定します。
- 3 本学の入学者の約80%が3年次編入学者であり、その中の約35%が専門学校卒業者です。
- 4 年間約350本のスクーリングをはじめ、本学の「学びやすさ」には定評があります。
- 5 「経営」「経営情報」「産業心理」など、時代のニーズに応える11コースを開設しています。
- 6 学費は初年度が21万2千円で、その中の授業料は分納が可能です。学費ローンも利用できます。

産業能率大学 通信教育課程
〒158-8632 東京都世田谷区等々力6-39-15 TEL:03-3704-4012

資料を無料でお届けいたします
▶ 24時間ダイヤル: 03-5972-5095
▶ ホームページ: <http://www.sanno.ac.jp/tukyo/>
▶ 携帯からも請求できます



企業連携奨学制度を開設
テクノビジネス 組込みソフトエンジニアコース

本年度スタートした組込みソフトエンジニアコースを対象に、企業連携奨学特待制度がスタートしました。この制度は、企業が対象者(入社予定者)に奨学金を貸与し、対象者をテクノビジネス専門学校に入学させて、必要な技術・知識を身に付けさせた後に本採用する制度です。

社会構造が格差社会化の傾向を示して依頼、高等学校において学費減免対象者や学費未納者が急増しています。これは、保護者の経済的な困窮を示しています。この状況は、結果として進学する能力・意欲が有りながら経済的理由で就職組になる高校生の増加につながっています。

IT産業など技術を必要とする仕事は、高卒では就く事は困難です。一方、組込みソフトエンジニアを始めIT産業全般には潜在的な求人難が続いています。そこで、当校が窓口になって、高卒予定者に就職と奨学金を取り持つ事によって一人でも多くの「望まない就職組みの生徒」に進学と就職を手に入れてもらいたいとの思いからスタートした制度です。

生徒・企業双方の架け橋となり、対象範囲のコースも将来広がればと期待しています。

今後もより一層企業との連携を深めて、産業界から注目される専門学校へと進んでゆきます。すでに社会で活躍されている卒業生のみならず、たまには古巣の学校に顔を出して仕事の事など教えてください。

「テレビ神奈川社長賞」を受賞
日本語科、張 維穎さん

日本語教育振興協会の関東甲信越弁論大会が7月18日に開催され、当校日本語科の張維穎(中国蘇州出身)さんが、「テレビ神奈川社長賞」を受賞しました。

この弁論大会は関東甲信越地区の日本語学校66校からテーブル審査で選ばれた17名(10か国)が出場する、レベルの高い大会でした。



張さんは、「四川大地震で亡くなった若者の無念さを思うと、今、生きている私たち留学生は何をすべきか、異文化理解、相互理解を深め、協力することが大切、周りにいる人と仲良くなることから始めたい」と訴えました。亡くなってしまった若者の悲しさを切々と伝え、「できることから始めよう」と力強くスピーチしました。

西公会堂で校内スピーチコンテスト実施
テクノビジネス専門学校 日本語科

7月11日(金)に日本語科の校内スピーチコンテストを実施しました。今年は、会場を西公会堂に移し、慣れない会場での開催となりましたが、実行委員の学生たちが積極的に自分の役割を果たし、学生主体のとても有意義な会になりました。

最優秀賞は、モンゴル出身のナランチメグさん。おじいさんおばあさんから聞いた言い伝えや、故郷の川で「水の中を掃除する蛇」に遭遇

するという驚きの体験を紹介しながら、「自然を大切にしよう」と訴えました。



モンゴル国にパソコン60台を寄贈
テクノビジネス専門学校

テクノビジネスでは、入れ替えて不要になったパソコン60台をモンゴル国へ寄贈しました。テクノビジネスには、モンゴルからの留学生が13人在籍していますが、この留学生受入で縁のある日蒙友好交流支援協会が、横浜市の医薬品などをモンゴルに寄贈するのに併せ同協会を通じてモンゴルへ寄贈したものです。



昨年12月には、学生・教職員はじめ多くの方々のご協力で梱包作業などを行いました。輸送も横浜の国際輸送会社のご協力で1月に中国・天津経由でウランバートルに輸送。

2月には松井校長がモンゴルへ赴き、モンゴル国厚生省で寄贈品を引き渡し、横浜市長や岩谷理事長への感謝状をいただきました。モンゴルでは新聞・テレビで報道され、神奈川新聞にも記事が掲載されました。

また、4月末には寄贈先であるバヤンホンゴル県の県立総合病院を訪問しました。寄贈した医薬品もパソコンも、この病院の診察室をはじめ多くの部署で大活躍していました。

専門課程でもスピーチコンテストを実施
テクノビジネス専門学校 専門課程

6月26日、第1回の校内日本語スピーチコンテストを開催しました。クラス予選を経て出場した15名の学生のスピーチは、大変内容の濃いものでした。

『来日して数年という日の浅い子が多いにもかかわらず、誰もが巧みに日本語を話す様子にまず驚きました。語りきれない言葉でしかも大勢の人々の前で話すという体験の重さ、それをみなで静聴し相互採点することから学ぶことの意義。このような機会を設け、本日実施にいたるまでにどれほどの努力があったことか、敬服いたします。…』



最優秀に輝いたBHATTARAI HIM LALさんの語るネパールの「村」の生活には、会場中がどよめいていました。「病気になっても、昔ながらの治療法しかありません。当然、直りません」との言葉に大笑いし、次の瞬間、背筋が凍りつきました。…一方で「ネパールの自然のすばらしさを知ってほしい」と語る彼のスピーチは、難しい言葉は一切使われていないのに、どんな雄弁な官僚の答弁でも聞くことのできない、インフラ整備と文化交流・自然交流の重要性を指摘する説得力に満ち溢れていました。』(来場者の感想から。一部省略)

韓国・柳韓大学からインターンシップ生
4月から8月まで、エクレスとテクノで職場実習

4月19日、韓国からキムムンソンさんとパクスヒョンさんの2人が、インターンシップのため来日しました。

1か月間の日本語研修後、3か月間エクレス幼稚園とテクノで職場実習を行っています。2人は韓国柳韓大学産業日本語学科の2年生です。



一人ひとりのサポートをめざして
高等専修学校から

今年からは、全学年2クラス制になり、今まで以上にきめ細やかな指導ができる体制が整いました。更に、「一人ひとりに応じたサポートのために」というモットーのもと、「アップルーム」がスタートしました。少人数で安心して学習できるこのアップルームは、毎時間必ず教員が待機しており、生徒の指導にあっています。学習面、生活面でのきめ細かいフォローを目的としています。生徒の長所を伸ばす指導に力をいれています。



前期は、行事がたくさん行われました。

6月の2年生の北海道修学旅行(知床・網走方面)は、無事故で終わることができました。出発前の天気予報では雲行きが怪しく、不安もありましたが、着いてからはそれがウソのよう。3・4日目はお天気にも恵まれました。体験学習では、網走原生牧場で乗馬を、屈斜路湖ではネイチャーボートでクルージングをしました。普段ではできない体験に、体をめいっぱい動かして参加しました。

その間、1年生は連携校である茨城県の鹿島学園高校まで行ってきました。バスの旅です。レスリング部やゴルフ部などの部活動を体験し、学生との交流を深めてきました。3年生は三ツ沢公園野外炊事場野外クッキングでカレーを作りました。進路活動で忙しい学年ですが、クラスメイトとの交流を通じ、「進路」という目標に向かう為に気持ち新たに切り替えた1日でした。

夏休み前、生徒が楽しみにしているイベント、伊豆七島式根島でのサマーキャンプがありました。大型船内での1泊を含む2泊3日。当日は天気も恵まれ生徒はもちろん引率の先生たちも自然を満喫しました。昼間は、海水浴・島内散策・釣りをしたり、夜は温泉に入ったり花火やバーベキューなどをして大変盛り上がりました。



確かなキャリアサポートをめざして
岩谷学園キャリアセンター

卒業生の皆様、お元氣でしょうか？

岩谷学園で学ぶ学生の皆さんの就職支援部隊である岩谷学園キャリアセンターは、現在5名のスタッフで運営しており、主な支援内容は、求人情報の収集と提供、就職に関する相談、各校への就職関連授業の担当、インターンシップ等の職場実習支援です。

また、岩谷学園では、数年前から社会が求める人材像を意識し、教育の質を上げるために、キャリア教育の充実を図る取り組みを行っています。キャリアセンターでは、その取り組みの核となるプログラム作りを行う他、各校の教員のキャリアサポートマインド養成支援なども行っています。

現在、キャリアセンターが支援を行っている求職者は、本科生に加えて厚生労働省・神奈川県・横浜市から教育訓練を受託している職業訓練生もあり、その数は年間で約400名ほどです。社会経験およびキャリアサポート経験豊かなスタッフが親身になって求職者の相談やアドバイスにあたっています。その結果、昨年度は、本科生は100%、職業訓練生は平均85%の就職率を達成しました。この就職率は神奈川県トップクラスで、受託先からも「岩谷の就職指導は素晴らしい！」と高い評価をいただいております。

今年は、キャリアサポート事業のさらなる躍進を視野にいれ、【有料職業紹介事業】および【一般労働者派遣事業】の申請手続きを行っており、今年中には許可が下りる見込みです。

卒業生の皆様も、これまでのスキルを生かして転職をしたい、あるいは優秀な人材が欲しい・・・とお考えの際には、ぜひ、キャリアセンターをご活用ください。お待ちしております。

キャリアセンターブログ『はっぴいキャリアのお手伝い』
<http://icb-career.cocolog-nifty.com/blog/>



キャリアセンターは6号館へ
移転のお知らせ

2008年6月9日より、キャリアセンターは岩谷学園6号館 2Fに移転しました。

岩谷学園6号館は3号館の隣にあり、これまでキャリアセンターがあった、5号館の裏側にある建物です。

新住所: 〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-11
TEL:045-410-4100 FAX:045-410-4101
Mail: job@icb.ac.jp

2007年度卒業作品発表会を11月15日に実施しました
 テーマはEarth(アース)…地球



今年度は12月4日に開催予定です
 みなさん遊びに来てください!

毎年恒例になっております、卒業作品発表会が2007年11月15日(木)、横浜崎陽軒特設会場で行われました。テーマは、「Earth(アース)」。
 18時にショーが開演し、フラワー・ガーデニングコース4名による作品で作り上げた、草原・畑・砂漠・ジャングル・海底をイメージした地球を中心に、モデル一人一人が一輪を手渡しなが、完成させていきました。



『粋生いきいき倶楽部』

～シニアにもやさしい学びと交流のサロン～4月にオープン!

横浜駅東口の平沼橋の近くにある「アーティストックB校」の1Fにシニアを主対象とした会員制の「粋生倶楽部」をオープンしました。

シニアにもやさしい学びと交流のサロンとして“美と健康と癒し”をテーマに様々な学びの講座を用意して、現在、開催しています。「粋生倶楽部」は、シニアや団塊の世代の方々には生き生きと輝いてほしいと願い、カルチャーセンターとはひと味もふた味も違ったストーリー性のある年間講座や短期のレッスン講座が特徴です。

例えば、カルチャーセンターにはない農業指導専門家と連携した「楽しく菜園・農体験講座」(20日間)では失敗しない菜園作りによって野菜や果物を作る楽しさと収穫の喜びを体験できます。韓国の食や文化に興味のある人には特にお勧めの人気の韓国料理研究家「な・すんじゃ先生」の韓国宮廷料理教室、「韓国会話カフェレッスン」(各6回)が好評に開催中です。

この他にもシニアならではの“美と健康”に関する悩みについて、プロがアドバイスする「美と健康と癒しの講座」「トータルビューティ講座」、種を蒔いて収穫、食べ歩き、蕎麦打ちを体験するという、珍しい「こだわりの蕎麦講座」、通年でゆっくり学べる「シニアパソコンお楽しみ講座」などがあります。講座以外にも会員限定



特典が用意され、会員はサロン室でパソコンやドリンクが自由に利用できるほか、会員交流会、同好会、美容利用などの特典付です。是非、お問合せ・資料請求して下さい。

さい。

<http://www.ikiiki-club.jp>

TEL/FAX 045-314-3730

【受付時間】 火～土 10:00～17:00

(日・月・祝日は休館)

1期生卒業

TB科美容師養成コース

ビューティースタylist科美容師養成コースの1期生11名が3月6日に卒業式を迎えました。3年前に神奈川県で一番新しい美容師養成施設として開校し、初めての卒業生です。全員が進路も決まり、サロンで活躍をしています。みなさんの街のサロンにも岩谷学園の卒業生がいるかもしれません。



アーティストックB専門学校新体制
 理事長が校長を兼務

2008年度より、有吉校長先生が校長を退任され、顧問に就任されました。今年度からは、岩谷伸一理事長先生が校長を兼務しておられます。また、エステ担当として、大阪出身の福岡佐智代先生が着任されました。

学生のお店(メイク・ネイル・エステ・ヘアサロン)
 今年度もフェリーチェがんばってます



今年も店長を中心に後輩たちが、がんばっています。私たちに声をかけてあげてください。みなさんのご来客をお待ちしております。ご予約・お問合せ先 045-321-0707

「東濱祭～2008～」 2008年9月20日(土) 10:00～

・・・ぜひ、ご家族・ご友人とご来場ください！！

後援 平沼昭和親交会

2008年9月20日(土)
10:00-16:00
横浜駅東口岩谷学園にて

東濱祭 2008

岩谷から広がる
輪・和・わ!

- MOCHITUKI
 - 餃子・チヂミ・カレーなど
 - 留学生オンステージ
 - 日本舞踊・地域の演習など
 - 各国ポスター展示
 - 各国ティーマーク
 - 民族衣装で記念撮影
- ヘア・メイクショー
 - 学生のお店「Fellie (フェリーチェ)」
 - ネイル・ヘアエクステーション
- 手打ちそばの実演販売
 - 韓国海苔巻きの実演販売
 - 生落花生の実演販売
 - 自家菜園からの野菜・生花の販売
- 模擬店舗
 - 餃子・チヂミ・カレー
 - 肉まん・バナナ
 - 豚の角煮・トッポキ
 - 日本そば・唐揚げ
- 新鮮野菜の朝市
 - 写真展示
 - 絵画展示

入場無料
一般の方のご来場
大歓迎!!

学校法人 岩谷学園 ARTISTICKB

〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-19 (岩谷学園5号館) TEL: 045-321-4414
e-mail: gakusai@mail.icb.ac.jp URL: http://www.iwatani.ac.jp

東濱祭～2008～

岩谷学園『東濱祭』(学園祭)を、平成20年9月20日(土)午前10時より、賑やかに開催いたしますので、OB・OGの先輩の方々、奮ってご参加ください。

学園祭を『東濱祭』と銘打って開催して、早5年目を迎えました。地元自治会「平沼昭和親交会」とのジョイント企画『MOCHITUKI』(もちつき)や、高等専修学校保護者会の方々の『新鮮野菜の朝市』もすっかり地域に定着をしまりました。

また、「餃子」「チヂミ」「カレー」の各模擬店は、『東濱祭』の味、『岩谷の味』として継承され、すぐに売れきれのほど地域に好評を博しています。

5年を経て、少しずつ『輪・和・わ!』が広がりつつあります。今年は4月に開校した「粋生倶楽部」の方々にも参加していただくことができ、まさに幼児からシニアまで、家族で楽しんでいただける内容になりそうです。どうぞ、今年は是非家族でお出かけください。

明年、横浜市は開港150周年の佳節を迎え、そのためのイベントが盛大に開催される予定になっております。岩谷の『輪・和・わ!』が、さらに大きく広がり150周年のイベントと共鳴できるよう、今年度も、生徒・学生・留学生が中心となり教職員も一丸となって取り組んで参りますので、何卒よろしく願いいたします。

秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる(藤原敏行 古今)

まだまだ暑い日が続きます。皆様にはお体ご自愛いただき、9月20日には、横浜東口岩谷学園まで、足を運んでいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、内容に多少変更がある場合もございます。進行の様子は随時、学園のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

<主なイベント>

- 3号館前・・・10時
- オープニングセレモニー(全学生・地域の方々・ご来場者)
 - MOCHITUKI<餅つき> (平沼昭和親交会の方々・テクノビジネス専門学校) 飛び入り歓迎!
- 1号館3F
- 留学生オンステージ
 - ヘア・メイクショー
 - お楽しみ抽選会

OB・OGコーナーも設置してあります。どうぞ、一日学園生に戻っていただいて旧交を温めて頂ければ幸いです。

子曰、学而時習之、不亦説乎。
有朋自遠方来、不亦楽乎。
人不知而不愠、不亦君子乎。(論語 学而第)

<模擬店等>

- 1号館(アーティストックB専門学校学生)
- 学生のお店「フェリーチェ」(メイク・ネイル・ヘアサロン)
 - キッズコーナー(ネイル・ヘアエクステーション)
- 1号館(粋生倶楽部)
- 手打ち蕎麦の実演販売
 - 韓国海苔巻きの実演販売
 - 生落花生の実演販売
 - 自家菜園からの野菜、生花の販売
- 3号館(テクノビジネス専門学校学生)
- 餃子、チヂミ、カレー、肉まん、バナナ、
 - 豚の角煮、トッポキ、日本そば、唐揚げ
- 5号館(高等専修学校生徒)
- フランクフルト、水飴、喫茶店、チョコバナナ、かき氷、焼きそば
 - 新鮮野菜の朝市(高等専修学校保護者)
 - 写真展示
 - 絵画展示
- 6号館(テクノビジネス専門学校日本語科)
- 各国紹介・ポスター展示と世界のお茶とお菓子
 - 民族衣装展示と民族衣装試着と記念撮影

皆さんの近況をお知らせください

皆さんの近況を校友会事務局までお知らせください。クラス会やOB会などを開かれたときも、ぜひその情報をお知らせください。

同封のはがきをご返送ください

今回は、卒業生の皆さんの近況確認のはがきを同封しましたので、ご記入の上ご返送ください。住所や氏名の変更も、同封のはがき、またはE-mailでお知らせください。

シーブリーズ2008 2008年8月25日 発行

岩谷学園 校友会 事務局

〒220-0023 横浜市西区平沼1-38-10

岩谷学園3号館内

E-mail: koyu@icb.ac.jp

Tel: 045-321-3210 Fax: 045-290-0608

校友会HP http://www.iwatani.ac.jp/koyu/index.htm